

令和4年5月20日《 寒風台小学校校長室から No. 6 》

5月9日(月) ゴールデンウィークも終り、子どもたちが学校に戻ってきました。しかし、今日はとても寒かったです。昨夜の雨から気温が下がり、長袖やジャンパーで子どもたちは登校してきました。朝の打ち合わせでは、子どもたちの様子をよくみて、健康観察をして、無理しないでスタートしましょうと伝えました。そして、いつもならば、熱中症に気をつけて運動会の練習をしましょう。水分補給を忘れずに。というのですが、今日は涼しすぎるくらいでした。昨日、塩分補給のタブレットを買っておいたのですが・・・暑くなったら使ってもらいましょう。



運動会練習と並行して、体力向上のために休み時間に松戸市特級体力章への挑戦プロジェクトが始まりました。最初は鉄棒チャレンジです。10秒間に逆上がり8回以上できれば合格で3月に松戸市から賞状が出ます。希望者は鉄棒前に集まり、さっそく合格者が出ました。

・松戸市特級体力章 鉄棒 逆上がり基準合格 4年生男子 10秒間に8回

5月10日(火) 1時間目から6時間目まで各学年2時間ずつ運動会の練習がありました。ダンスの練習が中心ですが、さすがに子どもたちは元気です。何回も繰り返し踊っていました。先生たちも見本を見せ、指導しながら一緒に踊っています。先生たちも元気ですね。私は、休み時間に鉄棒で逆上りの指導をしています。今日は、10秒間に8回逆上がりできた子が3人もいました。それ以外にも1年生は、朝顔の種まき、2年生は、ミニトマトの植え付けをしました。外にいる活動の多い日でした。

午後に地元議員さんが来て、千駄堀の「ゾーン30」設置について、千駄堀第1町会長さんと本校校長の連名で松戸警察署長さんに提出する要望書をお持ちになり、確認の上、提出してもらうことになりました。

・松戸市特級体力章 鉄棒 逆上がり基準合格 3年生女子 10秒間に10回
4年生女子 10秒間に8回
2年生男子 10秒間に9回

5月11日(水) 今日、PTA役員会がありました。私の方からは、先月の停電復旧作業の顛末、千駄堀のゾーン30要望書、1年生の名札の廃止、タブレット持ち帰りの停止、メールによる欠席連絡の開始、短縮日課の在り方と授業時数確保の観点から通知票の2期制の話をしました。

現在、寒風台小学校では、2年生以上は名札をつけていなくて、1年生だけが、

名札をつけています。校外では、不審者に名前を知られてしまうし、校内では、1年生の担任の先生は子どもたちの顔と名前はもう覚えたということなので、1年生の名札は、5月からしてこなくて良いことにしました。もう使うことはないので寒風台小入学の記念品として取っておいてください。私も含め、担外の先生は、子どもたちの名前と顔を覚えればよいのです。

タブレットについては、4月に教室に入れなくて、校長室に来ていた2年生の子のランドセルを持ち上げたところ、あまりの重さに驚きました。聞けば、1月末からコロナでの学級閉鎖に備えて毎日持ち帰りをしていたということです。現在、家での使用頻度と市内の学級閉鎖状況を検討した結果、子どもたちのランドセルの重さの負担も考え、5月から学校保管をして学校で充電して使用することにしました。

5月9日にICT支援員の先生が来てくださり、メールでの欠席連絡ができるように設定してくれました。さっそくPTA役員会にて説明し、16日(月)から運用できるように12日(金)に文書を配付しました。悪用されないように欠席連絡のアドレスは連絡メールにてお送りしました。

※運用初日の16日(月)は、7時50分現在で欠席等メール連絡10件、電話連絡1件で事務室の電話対応が激減しました。お互いの時間が有効に活用されたということです。

4月は地域訪問、急な停電復旧工事等の短縮日課があり、授業時間が減りましたが、今後7月、12月、3月に成績処理のため短縮日課が予定されています。生徒指導上で地域から苦情の電話のあるのもこの短縮日課期間です。また冬場に学級閉鎖ともなれば授業時数が大幅に減っていきます。今後、校外学習や各行事が復活してくると、授業時数を割いて行うことも予想されます。

当初、昨年度同様に7月は所見なしで成績のみの通知票で短縮日課を取っていましたが、これにはいくつか疑問があります。視点が教員の業務改善のみだからです。そこで、できるだけ授業時数を増やし、より子どもたちの学力向上、体力向上を期すために、7月、12月の短縮日課をなくし通常授業を行い、通知票を10月と3月の2期制とし、10月の分の短縮は最小限度とする方法をとることを提案しました。

※1学期でいえば、7月に終業式はしますが、前日まで午後までの通常授業をします。給食の年間計画を変えて最後まで食数を増やすことも可能だそうです。そうすると暑い最中、プールの授業を7月末の午後に組み込むことも可能です。部活動も終業式ぎりぎりまでできます。学童へ行く時間も当然遅くなります。児童の授業時間は、年間で20時間以上増加します。活動時間はそれ以上増加します。学習の振り返りや先取りする時間に充てることができます。デメリットとなる1学期分の学習や生活の様子については夏休みの個人面談で個々の状況を

担任が詳しくお話しします。さらに林間学園、修学旅行の前日2日間は意図的に家庭学習日としてリモート授業にする予定です。このことにより宿泊学習の前に濃厚接触者という子どもが存在しなくなり、学級閉鎖で旅行をキャンセルしなくてはならないという可能性が物理的になくなります。リモート授業は授業時数にカウントされないのです、これを実施するには時数の貯金がないと厳しいのです。

反面、ブラックといわれている先生方の仕事は1学期が一番忙しく、4月は残業80時間以上の先生は5名いました。朝一番早く来ている先生は6時です。帰りの一番遅い先生は10時です。療養休暇等になると教員不足のここ数年は代わりの先生は来ません。補い合っています。結果皆が疲弊し、最終的に子どもたちに良い教育効果は出ません。

夏・冬休みに所見を下書きできると授業時間にゆとりが持てます。4月から9月の成績で前期の成績と所見をつけ、10月にお渡しするので、内容が練れてかつ、時間的にゆとりができ、10月の短縮日課は少なくて済むのです。1学期の所見を当初の計画通り口頭のみにしてしまうと紙面に残りませんが、前期とすると4月から9月の所見は紙面に残ります。3学期は、期間が短く所見に書くことが少なくて困りますが、後期10月から3月までの間の所見となれば内容も豊富になります。

児童の授業時間、活動時間が増えて、教員の業務改善も図れる策ですが、昨年度市内で2校しかありませんでした。(私は2年間2期制で行ってききましたが、中学受験の子にも影響はなく県立中学校に合格した子もいました。)今年少し増えて7校になりそうです。

昨日、某テレビ局の朝の情報番組担当者さんから本校の運動会についての電話での取材がありました。なぜ問い合わせをしてきたのか尋ねると本校のHPの運動会の記事を見て問い合わせたそうです。昨年度との違いと本校の特徴を話しました。HPが以外に見られているなど感じました。

今年の本校のHPは集計結果によると、今年4月分は、この3年間で4月としては最高の閲覧数でした。記事別での上位5位は、校長室から、今日の献立、入学式について、学校だより、着任式・始業式でした。そして、近隣5小学校の中では閲覧数はトップでした。

長くなりましたが、こんな話をPTA役員会でしました。

・松戸市特級体力章 鉄棒 逆上がり基準合格 3年生女子 10秒間に8回

5月12日(木)明日は雨の予報(大雨)なので、各学年の運動会練習にも力が入っていました。HPには今日までで運動会練習を全学年UPしました。

昼休みに代表委員会があり、この間任命式を行ったメンバーが集まり、話し合

い、「寒小っ子だより」を発行しました。そして運動会のスローガンが決まりました。「燃え上がれ 限界こえろ 寒小っ子」です。

- ・松戸市特級体力章 鉄棒 逆上がり基準合格 4年生女子 10秒間に8回
4年生女子 10秒間に8回
2年生女子10秒間に10回

5月13日(金) 天気予報どおり雨でしたが、危険まではいかなかったので良かったです。

今日は、雨の日の各クラスの授業の様子をHPにUPしました。クラスもまともを見せ始め、運動会練習で協力する態度が、学級づくりにもよい影響を与えていると感じました。学校行事によって育つ力があるのです。